

資料1

第6次鶴ヶ島市総合計画 後期基本計画の策定に向けて

～今後のまちづくりの視点について～

総合政策部 政策推進課

目次

- 01 前期基本計画評価の報告
- 02 鶴ヶ島市の現状
- 03 社会状況の変化・
本市を取り巻く状況の変化

重点戦略1 子どもにやさしいまちづくり

取組状況

- こども医療費の対象年齢の拡大（18歳まで）
- 全小中学校に一人1台のタブレット端末を整備
- 鶴ヶ島中学校と西中学校の再編に向けた取組
- 全小中学校のトイレ改修
- 全中学校体育館に空調を設置
- 中学校英語技能検定の検定料を助成
- 保育所・学童保育室における待機児童ゼロの継続
- 病児保育室利用料の無償化
- 児童館のトイレ改修
- つるバス・つるワゴンの子育て世帯の運賃無料化（未就学児同伴の保護者）

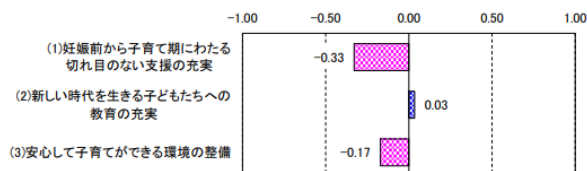
重点戦略2 いつまでも健康でいられるまちづくり

- アプリを活用したウォーキングの推進
- 地域におけるラジオ体操の推進
- 健康づくりの担い手（フレイルサポーター等）の養成
- 鶴ヶ島グリーンパークエリアの整備
- 市内企業と連携したガーデンパークの整備
- 市民とのワークショップによる児童公園の新設
- 若葉駅西口のトイレ改修
- 一本松駅のバリアフリー化
- バスロケーションシステムの導入
- デジタル支援員の養成・派遣
- シルバーeスポーツの推進

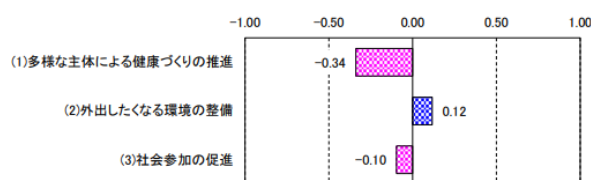
重点戦略3 多様な働き方が実現できるまちづくり

- 圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側地区産業用地に県と連携し、企業立地を実現
- 都市計画道路（川越鶴ヶ島線・鶴ヶ島南通り線の整備完了。共栄鶴ヶ丘線の整備着手）の整備
- 鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想及び整備計画を策定。事業化に着手
- 藤金地区地区計画の推進（道路や広場の整備）
- 空き店舗の活用促進
- 地域企業就職面接会や起業女性応援イベントの実施

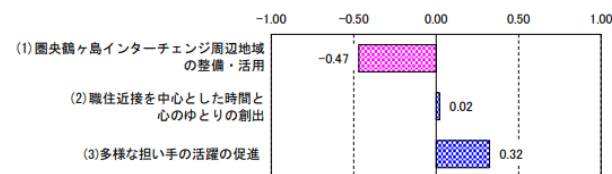
市民満足度



3項目中2項目がマイナス評価



3項目中2項目がマイナス評価



3項目中2項目がプラス評価

01 前期基本計画評価の報告

施策の評価（暫定値）

政策 1 安心して暮らせるまち(福祉)

施策の総合評価	進捗度	市民満足度	総合評価
施策 1 地域福祉の推進	B	C	C
施策 2 生活の安定と自立への支援	B	C	C
施策 3 子ども・家庭への支援の充実	B	C	C
施策 4 地域連携による子育て支援の充実	B	C	C
施策 5 幼児教育・保育の充実	B	C	C
施策 6 障害や生きづらさを抱える人への支援	B	B	B

政策 2 豊かな人が育つまち(教育・文化)

施策の総合評価	進捗度	市民満足度	総合評価
施策 7 未来を創り出す力を育む教育の推進	B	B	B
施策 8 教育環境の充実	B	C	C
施策 9 生涯学習・スポーツの振興	B	C	C
施策 10 歴史・文化の継承と芸術の振興	B	B	B

政策 3 いきいきと暮らせるまち(保健)

施策の総合評価	進捗度	市民満足度	総合評価
施策 11 健康づくりの推進	B	C	C
施策 12 地域保健・地域医療の充実	B	C	C
施策 13 高齢者が安心できる生活の支援	B	C	C
施策 14 介護予防・介護サービスの充実	B	C	C
施策 15 医療保険・年金制度の適正な運営	C	C	C

政策 4 活力にあふれるまち(市民生活)

施策の総合評価	進捗度	市民満足度	総合評価
施策 16 地域コミュニティの充実	B	C	C
施策 17 地域の拠点機能の充実	B	C	C
施策 18 防災対策の充実	B	C	C
施策 19 消防・救急体制の充実	B	C	C
施策 20 交通安全対策の充実	B	B	B
施策 21 防犯対策の充実	C	C	C
施策 22 消費者の安全確保	B	C	C
施策 23 人権・平和意識の醸成	B	C	C
施策 24 男女共同参画の推進	B	C	C
施策 25 多文化交流の推進	B	C	C

政策 5 魅力とにぎわいのあるまち(産業・環境)

施策の総合評価	進捗度	市民満足度	総合評価
施策 26 商工業の振興と地域資源の活用	B	B	B
施策 27 雇用の創出と就労対策の充実	B	B	B
施策 28 農業の振興	C	B	C
施策 29 環境保全の推進	B	C	C
施策 30 循環型社会と環境美化の推進	B	C	C

政策 6 快適で住みよいまち(都市整備)

施策の総合評価	進捗度	市民満足度	総合評価
施策 31 適正かつ合理的な土地利用の推進	B	B	B
施策 32 市街地整備の推進	B	B	B
施策 33 良好な住環境の推進	B	C	C
施策 34 公園の整備と緑化の推進	B	B	B
施策 35 道路環境の整備	B	B	B
施策 36 公共交通の充実	B	B	B

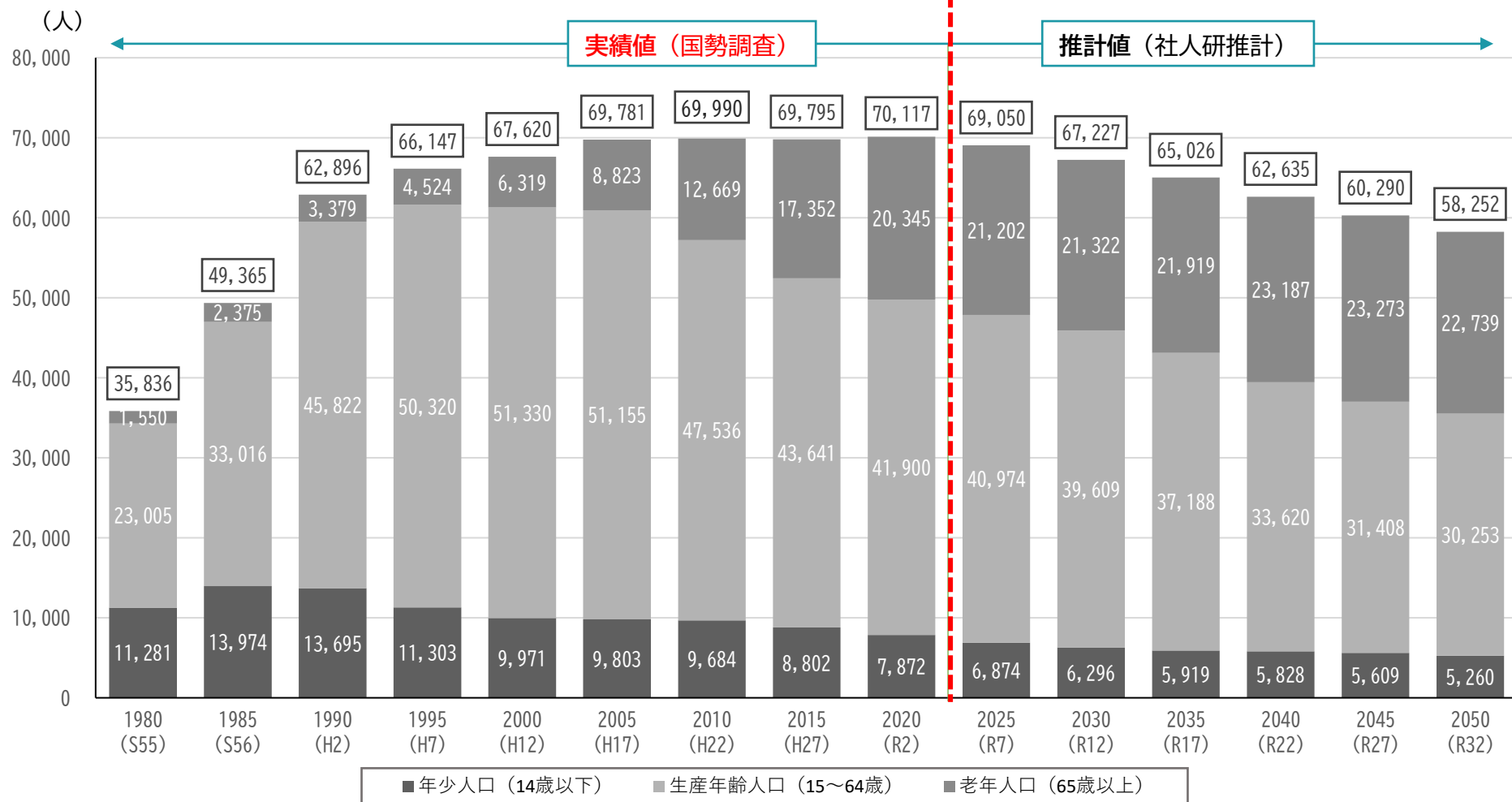
政策 7 経営的視点に立った市政運営(市政運営)

施策の総合評価	進捗度	市民満足度	総合評価
施策 37 持続可能な行政経営の推進	B	B	B
施策 38 ファシリティマネジメントの推進	B	B	B
施策 39 情報発信・収集の充実	B	B	B
施策 40 情報化の推進	B	B	B

02 鶴ヶ島市の現状

総人口の推移

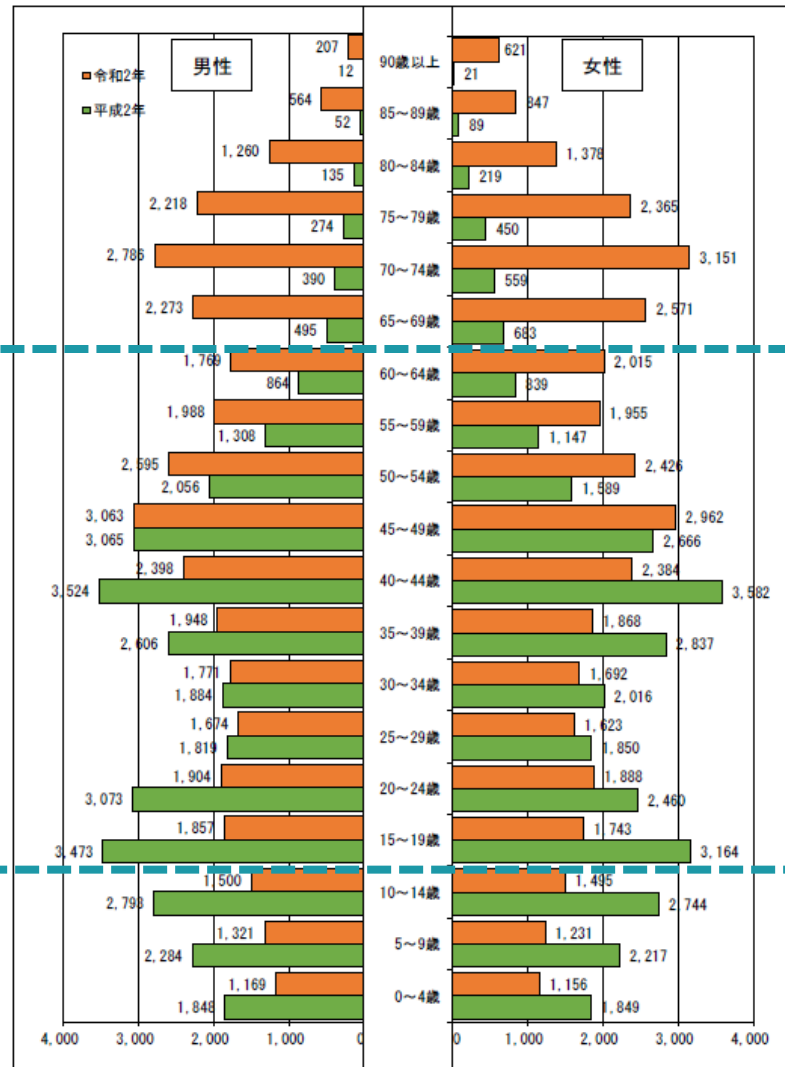
- 総人口については、平成17年以降、約7万人で横ばいで推移している。
- 社人研推計(2023推計)によると、今後の本市の総人口は減少局面に入り、約25年後の2050年(R32)には約5.8万人(2020年の約8割)まで減少する見込みである。



02 鶴ヶ島市の現状

人口ピラミッド（男女別年齢階層別人口）

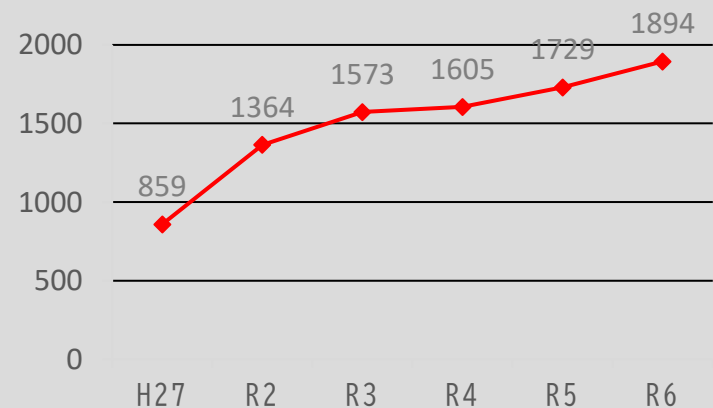
- 平成2年と令和2年の5歳階級別年齢別人口構成比を比較すると、老年人口が増え、年少人口が減少し、少子高齢化の進行が顕著となっている。



R6.4.1現在

総人口	老年人口	生産年齢人口	年少人口
69,911人	20,647人 (29.5%)	42,044人 (60.1%)	7,220人 (10.3%)

外国籍住民の推移

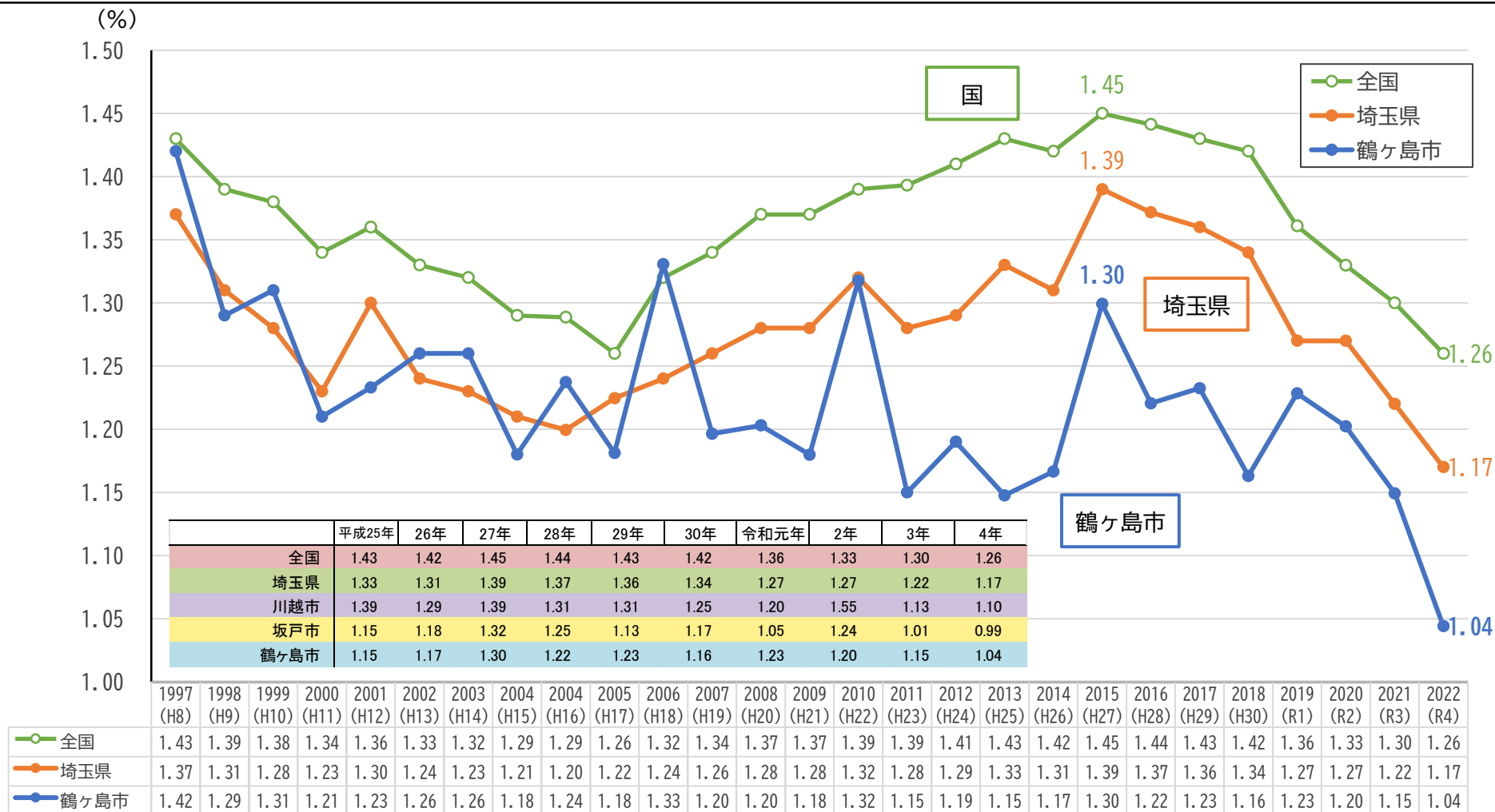


資料：住民基本台帳

02 鶴ヶ島市の現状

合計特殊出生率の推移

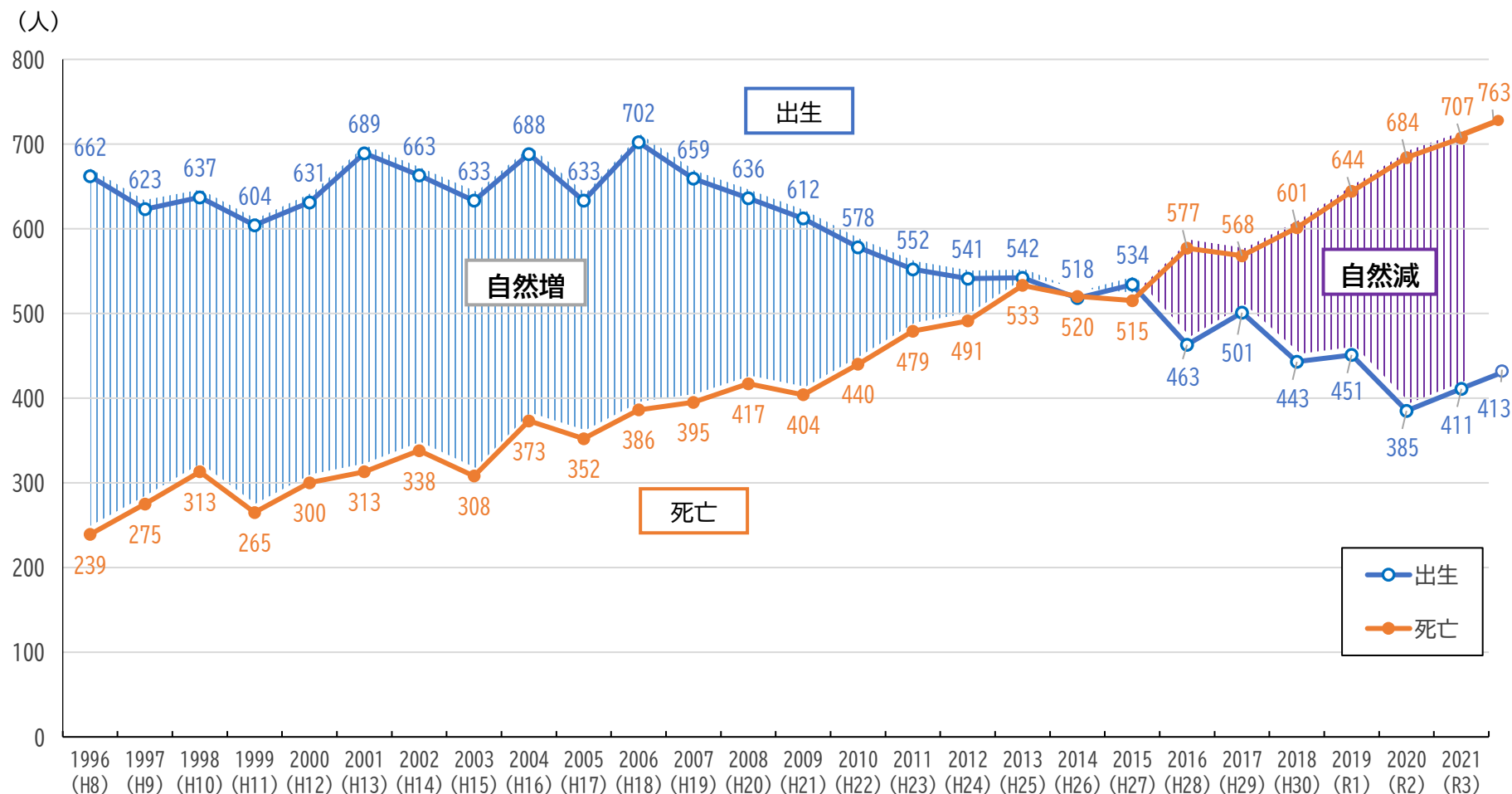
- 令和4年度の鶴ヶ島市の合計特殊出生率は1.04で過去最低を更新し、国(1.26)、県(1.17) の水準を下回っている。平成27年度以降、国、県、市のいずれも低下傾向が続いている。



02 鶴ヶ島市の現状

自然動態の動向

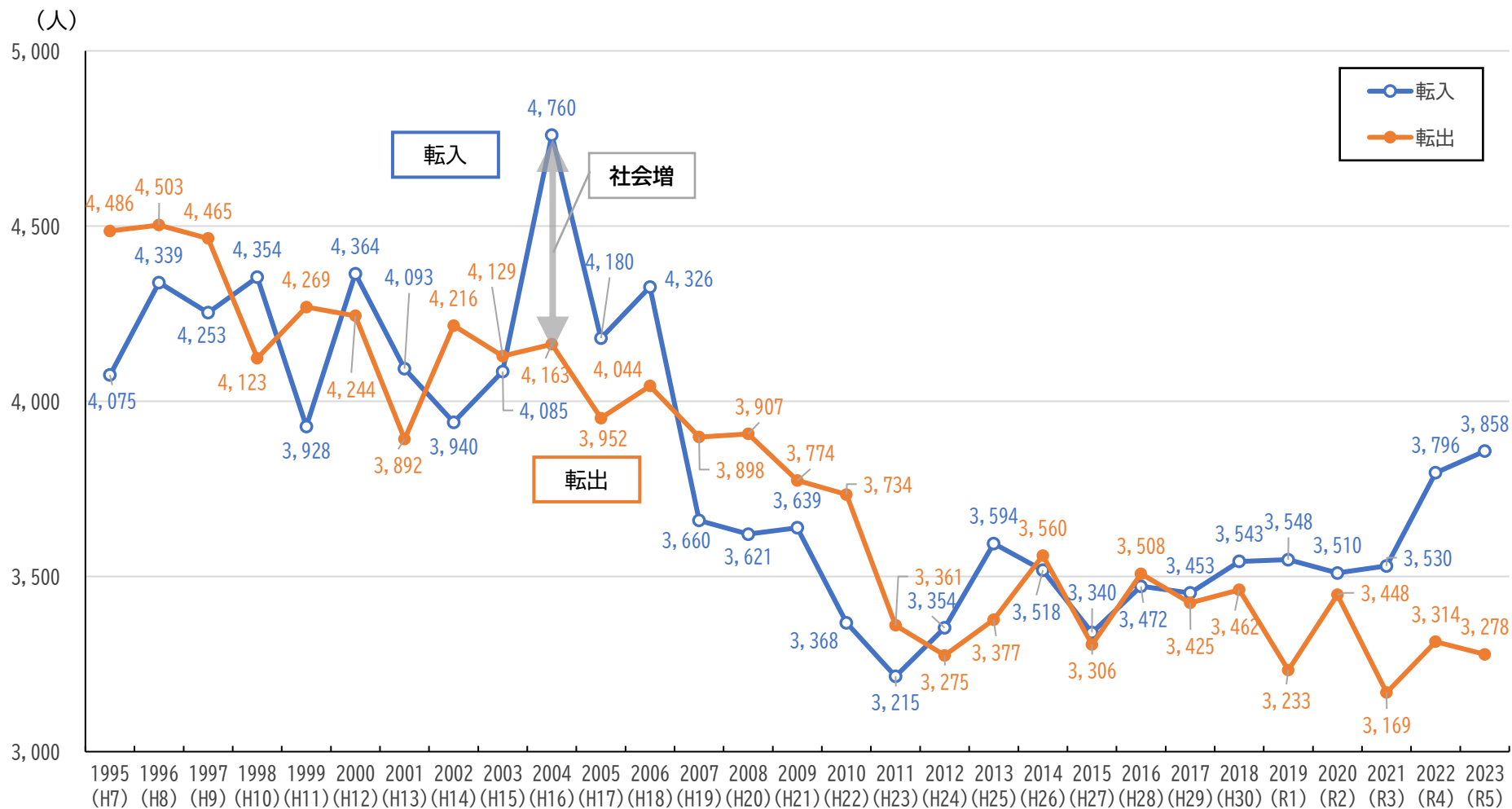
- 令和4年度の出生数は413人、死亡数は763人であり、350人の自然減である。
- 平成27年度以降、出生を死亡が上回る『自然減』の傾向が続いており、その差は拡大の傾向にある。



02 鶴ヶ島市の現状

転入・転出の推移

- 平成29年度以降、転入の増加、転出の減少の『社会増』の傾向が続いている。

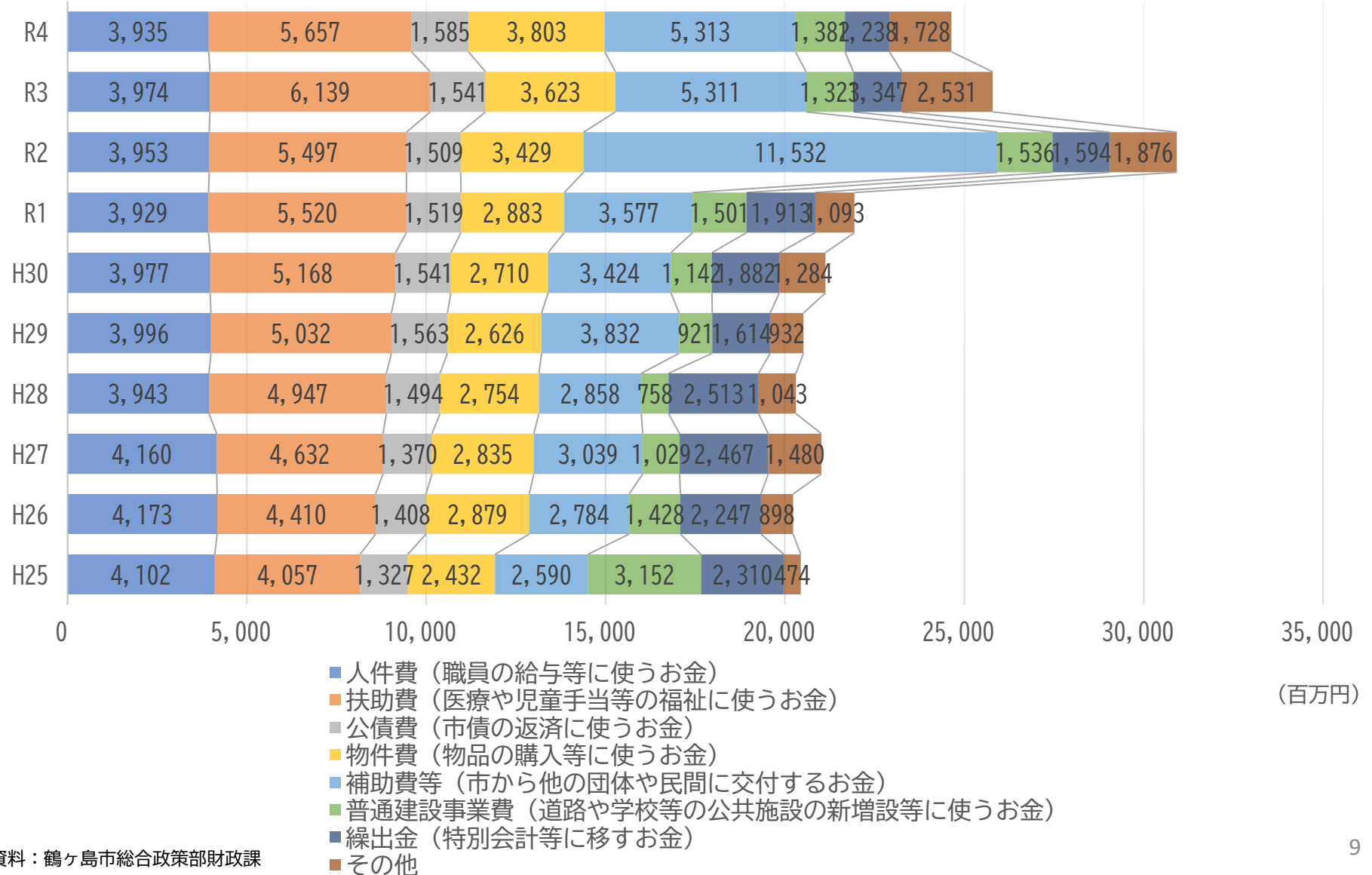


資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

01 鶴ヶ島市の現状

財政状況（これまでの決算額）

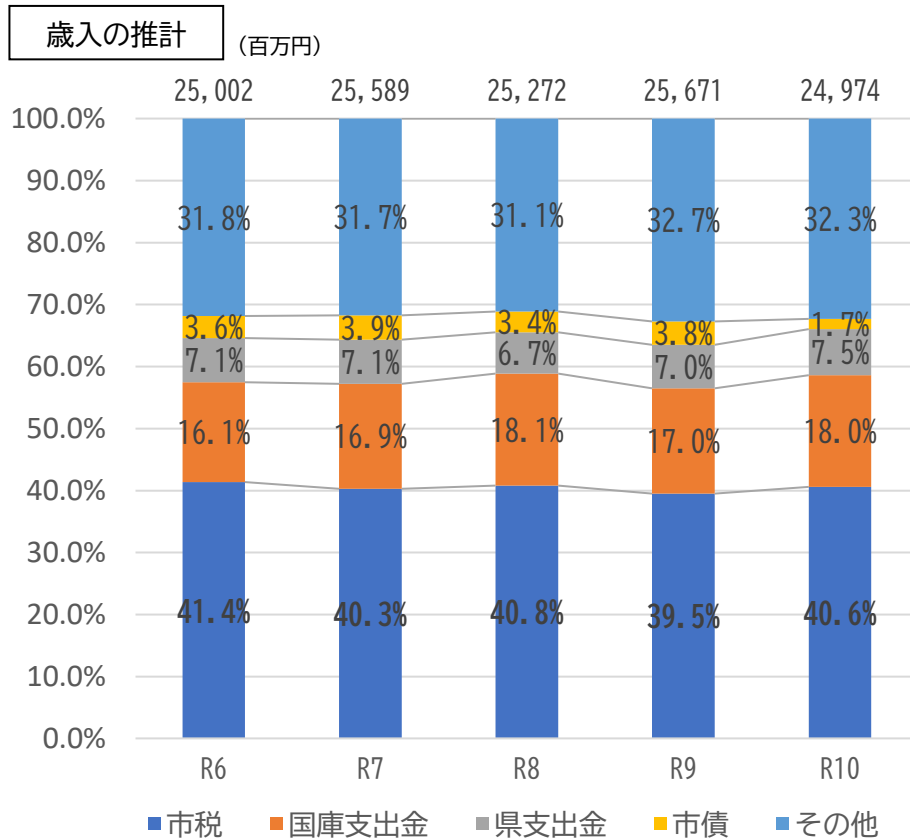
- 過年度の決算状況を比較すると、近年、歳出規模が拡大している。



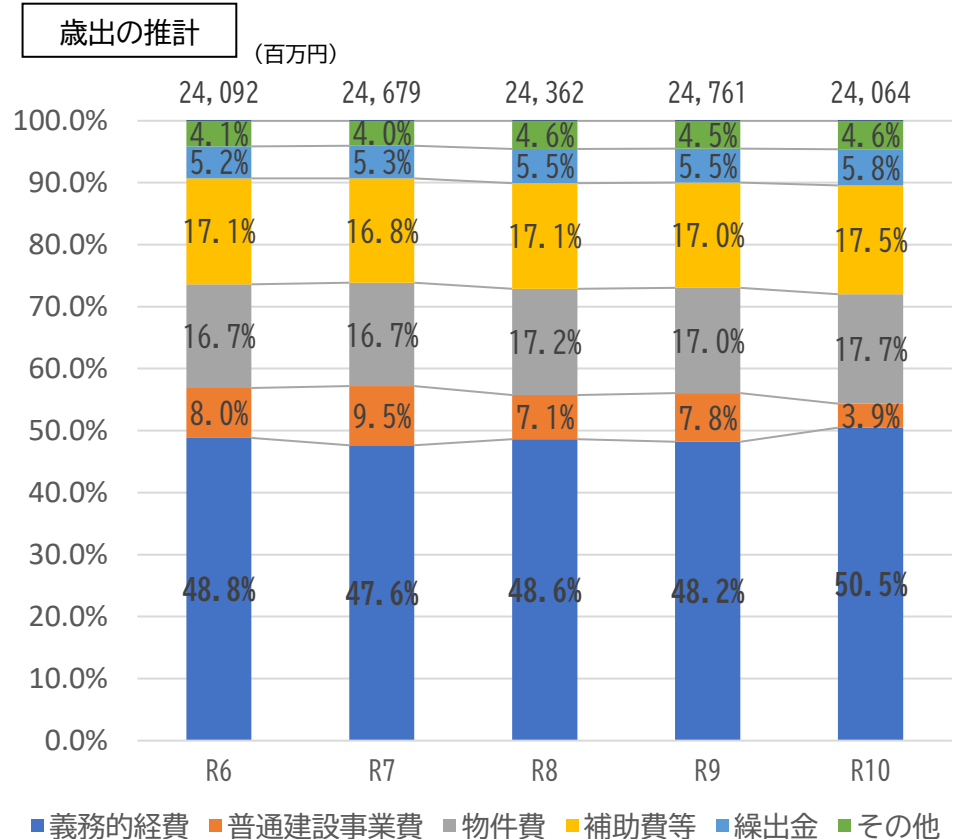
01 鶴ヶ島市の現状

財政状況（今後の財政推計）

- 向こう5年間においては、市税収入は安定しているものの、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）をはじめとした歳出の割合が増加する見込みである。



- 市税：市市民税や固定資産税等の税収入
- 国庫支出金：特定の事業のために国から支出されるお金
- 県支出金：特定の事業のために県から支出されるお金
- 市債：公共施設の整備等を行うための借入金
- その他：使用料、手数料、寄附金など



- 義務的経費：人件費、扶助費、公債費に係るお金
- 普通建設事業費：道路や学校等の公共施設の新增設等に使うお金
- 物件費：物品の購入等に使うお金
- 補助費等：市から他の団体や民間に交付するお金
- 繰出金：別の会計等に移すお金
- その他：積立金など

社会状況の変化

少子高齢化の進行
人口減少
デジタル技術の進展
コミュニティの希薄化
グローバル化の進展
自然災害の激甚化
ゼロカーボンの広がり
人々の価値観の変化



本市を取り巻く状況の変化

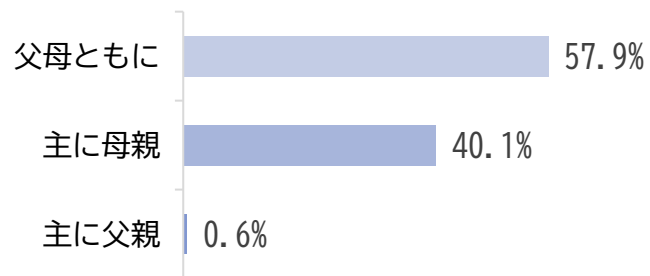
人口減少の始まり
子育て家庭を取り巻く状況の変化
地域とのつながりの変化
地域の担い手の減少
その他
行政サービスのデジタル化
インフラ整備の進展
市民意識の変化

03 本市を取り巻く状況の変化

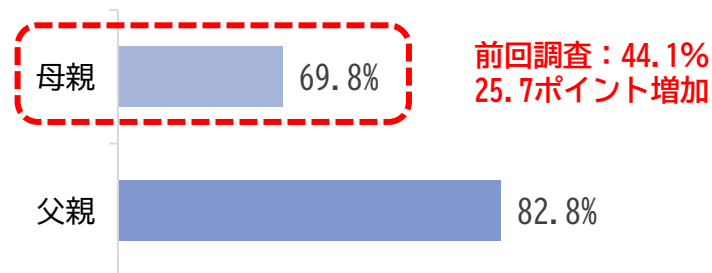
子育てに関する現状

- 保護者のうち、母親の就労割合は約7割であり、前回調査より25.7ポイント増加している。
- 子どもをみてもらえる親族や友人がいない割合が15%

主に子育てをしている人

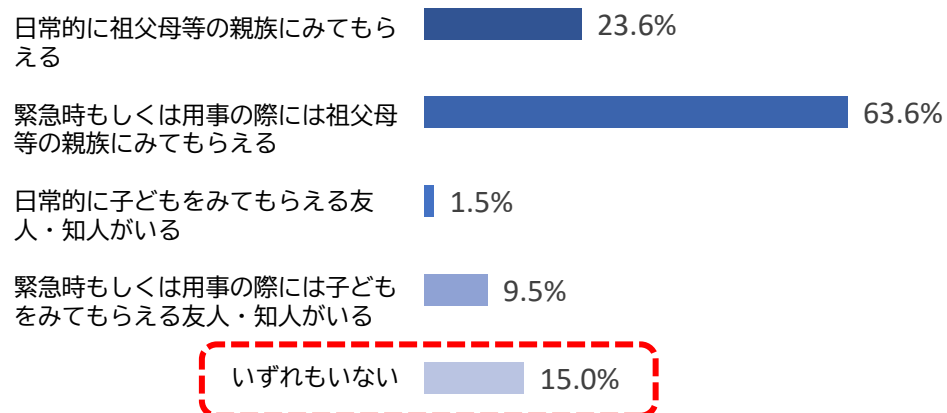


保護者の就労状況

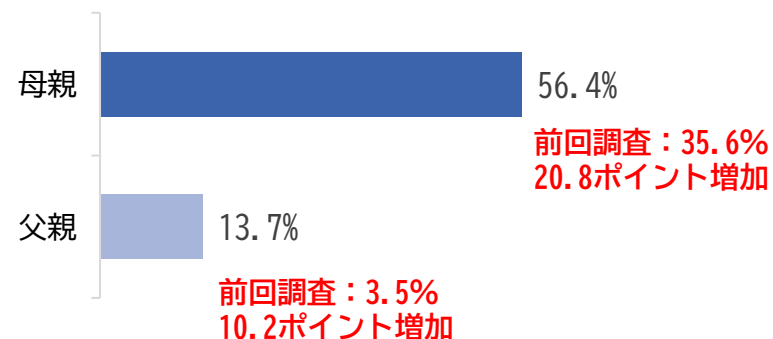


※保育所・幼稚園等の「平日の定期的な保育・教育事業」の利用割合：77.2%（前回調査68.8%）

子どもをみてもらえる親族・友人の有無

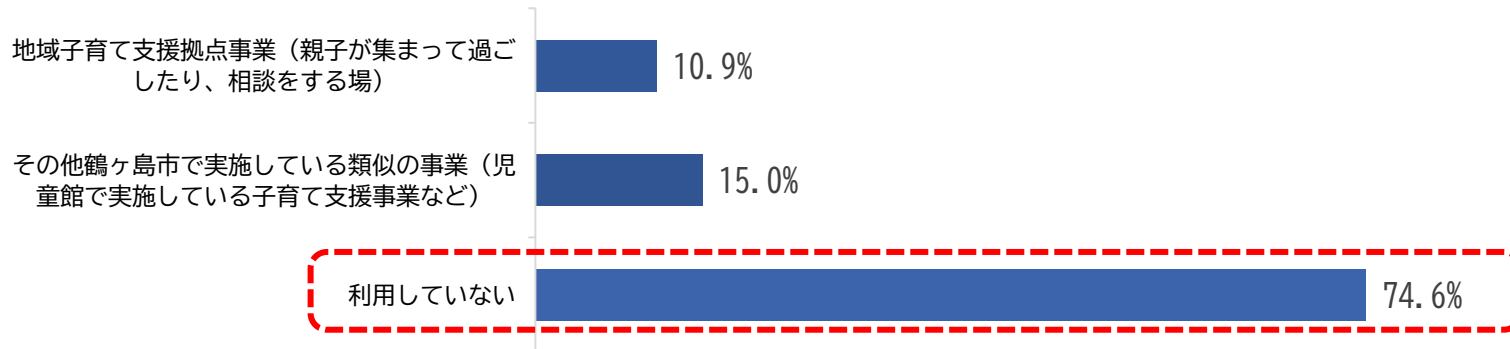


育児休業の取得状況

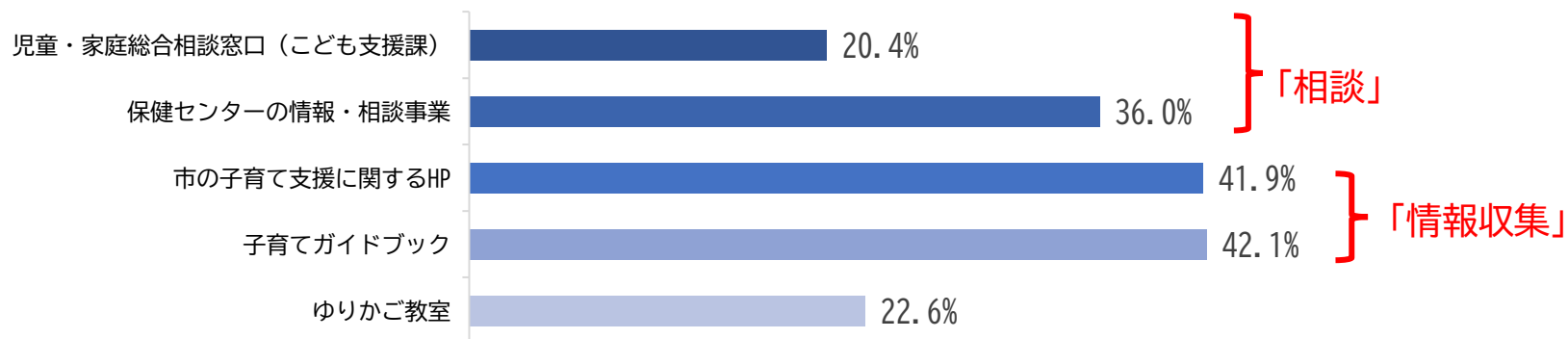


- 地域子育て支援拠点事業等を利用していない人が約7割
- 利用したことがある市の子育て事業等には、「相談」や「情報収集」に関する事項が上位にあがっている。

地域子育て支援拠点事業等の利用状況



市の子育て事業等の利用状況（これまで利用したことがあるもの）

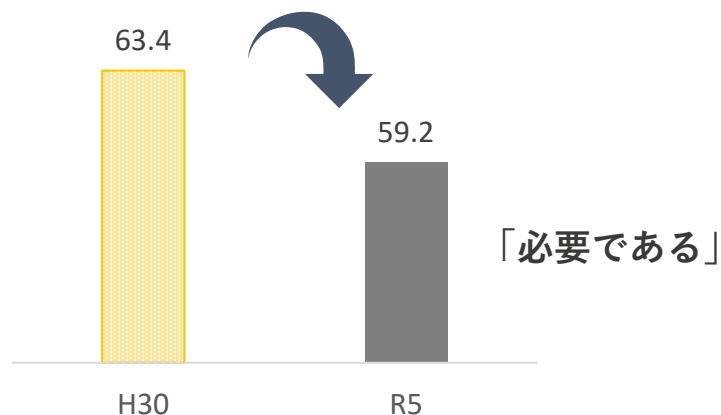


03 本市を取り巻く状況の変化

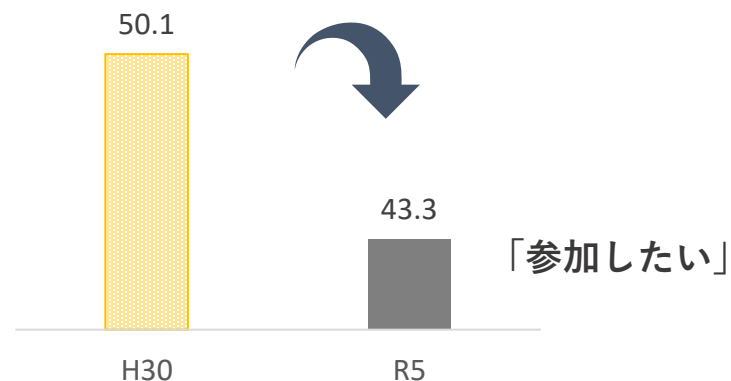
地域コミュニティに関する現状

- 前回調査と比較し、総じて、何らかの「地域との関わり」を「持っている」「持ちたい」と感じている市民の割合が減少している。

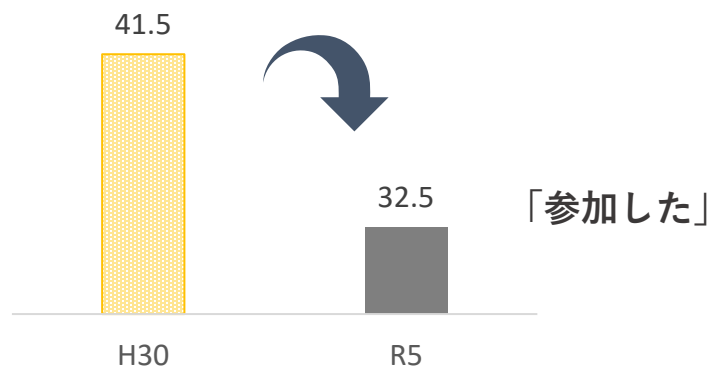
地域コミュニティ活動の必要性



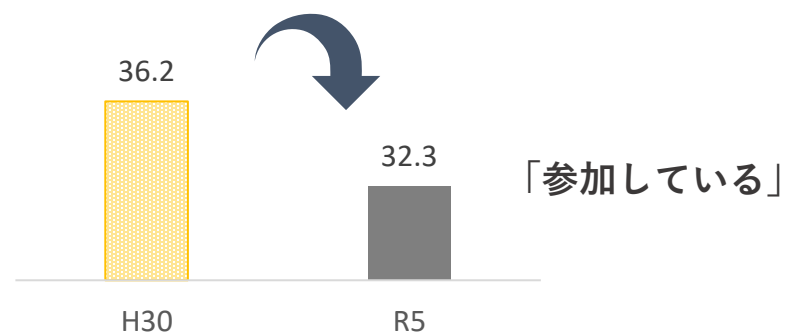
市民活動への参加意向



市内の行事・イベントへの参加



学習、趣味の会やサークル活動への参加

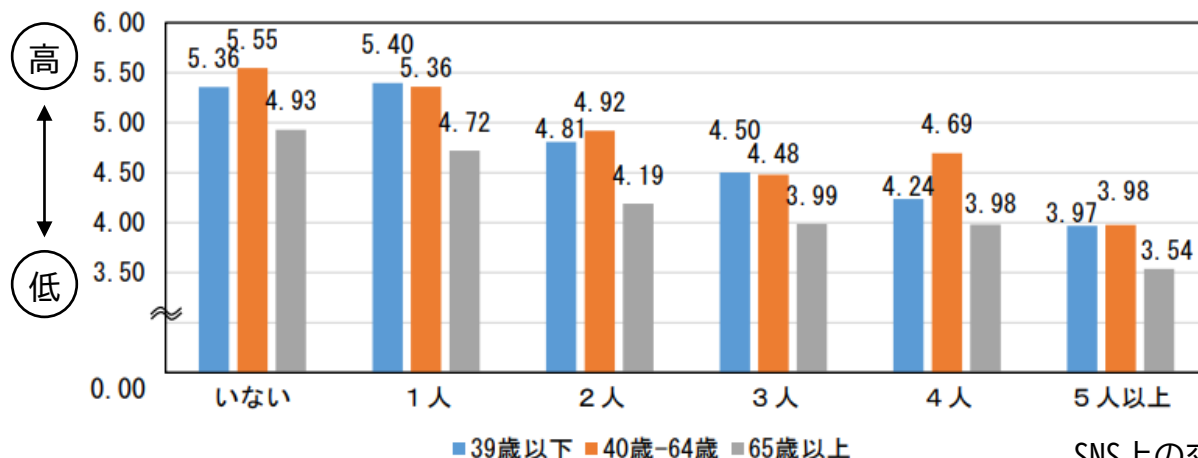


03 本市を取り巻く状況の変化

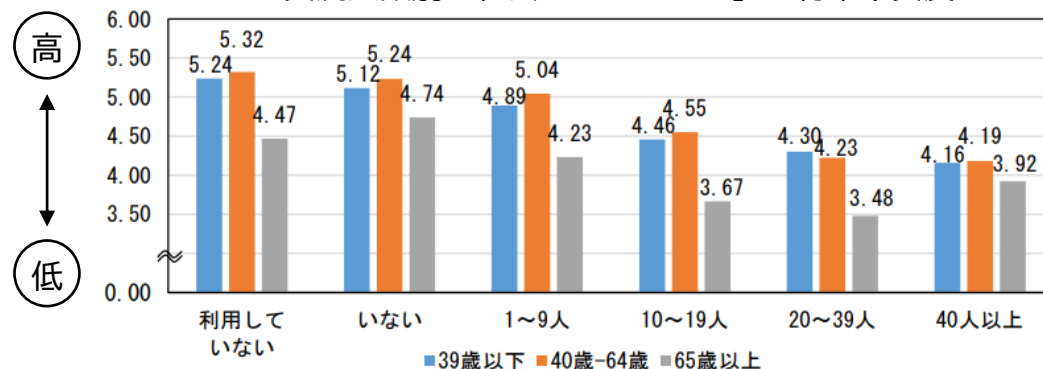
(参考) 社会とのつながり状況

- 国の調査によれば、困ったときに頼りになる人（同居家族を除く）の人数が多いほど、「社会とのつながり」に関する将来不安度が低い。

困ったときに頼りになる人（同居家族を除く）の人数分布別
「社会とのつながり」の将来不安度の高低



SNS上の交流人数別「社会とのつながり」の将来不安度



資料：内閣府「満足度・生活の質に関する調査報告書2023」
n = 約10,000人

03 本市を取り巻く状況の変化

市民センターの利用状況、自治会加入状況

- 市民センターの利用者数は、コロナ前の水準に戻っていない。
- 自治会加入世帯数、加入率ともに減少傾向が続いている。

